

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	津山文化センター
(2) 指定管理者	所在地 津山市山下 68 番地 津山文化センター内 名称 公益財団法人津山文化振興財団 代表者 理事長 浮田 佐平
(3) 公の施設の所管部署	津山市産業文化部文化課
(4) 指定期間	平成 31 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日
(5) 評価対象期間	令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	15,383 人 (前年度津山文化センター休館のため利用なし)
(2) 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設管理業務 (新型コロナウイルス拡大防止のため休館 R2.4.18～5.31 まで) ・自主事業 今年度は計画していた①避難訓練コンサート、②ステージラボは、新型コロナウイルス感染拡大防止を最優先とし、開催を断念した。次年度は状況を考慮し、開催できるよう準備を行っている。 ・年間稼働率 79.6 % (前年度休館のためなし)

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	33,621 千円	(前年度決算額	4,092 千円)
	内訳	施設継続・再開事業助成金	2,754 千円	
		健康増進・文化活動促進事業負担金	187 千円	
		指定管理料	22,828 千円	
		利用料金収入	7,692 千円	
		その他の収入	160 千円	
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	33,623 千円	(前年度決算額	4,049 千円)
	主な支出	人件費	12,663 千円	
		光熱水費	4,769 千円	
		修繕・消耗品費等	2,768 千円	
		委託料 (施設管理)	11,830 千円	
		事業費	48 千円	
		負担金・公租公課	294 千円	
		その他	1,251 千円	

4 総合評価結果

(1) アンケート調査等の概要	<p>今年度は新型コロナウイルス感染防止対策のため、利用者アンケートとして記入方式でのアンケートは行わず、来館者及び電話対応時に口答による利用者調査を行い、回答を得た。</p> <p>調査対象：文化センター利用者、主催事業鑑賞者</p> <p>調査方法：施設利用者/利用申し込み時に問い合わせ 鑑賞者/チケット購入時および公演日</p> <p>回答状況：利用料金に対する不満の声があった。 待ち時間に食事のできるカフェやレストランの設置を希望。 リニューアルして明るくきれいになり、使いやすい。</p>
-----------------	---

	<p>エレベーターが設置されたので、移動が楽になった。</p> <p>対応：今後も利用者の立場に立ち、安心安全に何度も利用していただける施設となるよう引き続き情報収集や情報の発信に努める。</p>
(2) 指定管理者の自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ●リニューアルオープンを広く周知するため、ホームページおよびfacebook や独自に発行する情報誌「イクシラ」等を活用した広報活動を実施した。 ●特定の団体だけに偏らず、公平に条例及び施行規則を遵守し、適切な運営に努めた。 ●巡視、点検を定期的に行い適切な施設管理を行った。不具合や修繕箇所等が発生した場合は、市担当課と情報共有し、迅速に対応、修繕等を実施し、維持管理と環境整備に努めた。 ●貸館業務においては、上半期は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、4月18日から5月31日まで臨時休館となったこともあり、中止（取り消し）または延期が続いたため、稼働率の低下と利用の大幅な減となった。リニューアル後、光熱費を可能な限り抑えながら施設管理を行ったが、利用が少ない中でも改修前の想定を超える光熱水費、リニューアル箇所以外の老朽化による修繕費が発生した。令和3年度は利用者・来場者に対して安心安全に利用いただけるよう、適正な管理運営、引き続き経費削減に努め、稼働率、使用料収入の増を目指したい。 ●施設利用者への新型コロナウイルス感染防止対策として、手指消毒液、検温の実施を適正に行った。また、館内の共有箇所に抗ウイルス抗菌コーティング剤を塗布し、日常清掃を実施し感染防止対策を行った。 ●公立文化施設協会や国、県のコロナ対策ガイドラインを参考に、津山文化センター独自のガイドラインや対策マニュアルを作成し、主催者と連携しながら、安心安全に利用いただけるよう努めた。 ●利用者・来場者からの意見や苦情があった場合は随時対応または報告を受け、職員は情報共有して利用者・来場者の満足度の向上に努めた。 ●現在は、貸館業務におけるオンライン対応の未実施、事務所内部のデジタル化が構築できていない状況であるが、今後はwith コロナ、after コロナを見据え、利用者の利便性、安全性を高めていくため、管理システムをオンライン化するなどのシステムの構築、事務の効率化、市民サービスの向上のための体制整備について検討していく。
(3) 市の評価	<p>リニューアルオープンと新型コロナウイルス感染症の流行が重なり、当初予定されていた事業の中止や延期となった。それに対し、独自のガイドラインや対策マニュアルを作成することで、施設を安心して利用できる環境整備に努めたことは評価に値すると考える。</p> <p>今後は、アフターコロナに向けた社会情勢に適応する体制作りにさらに努めてもらいたい。また、県北の拠点としての文化芸術の創造・発表の場の役割を果たすよう期待する。</p>